

「思春期」のこどもに伝える 親しい人との関係づくり

～「思春期の心と体プログラム」から学ぶ～



進学や入学に合わせ、これまでとは違う交友関係ができてくるこどもたち。LINE、InstagramなどのSNSを使う機会も増え、日々のこどもの様子に、周囲のおともも気になることが増えてきます。

また、親しい関係の中で、相手を束縛したり、行動を制限したり監視する行為が行き過ぎて、トラブルに発展してしまうこともあります。このようなことが付き合っている関係性の中で起こると、それを「デートDV」と言います。

この「思春期の心と体」プログラムでは、さまざまな場面から思春期に起こりうるトラブルを回避するためのヒントを提供し、こどもたちが自ら、自分の心と体を守ることができるよう考えていきます。

お互いに尊重し合える対等な人間関係を築いていくために、中学校で実施しているプログラムを通して、おとなができることを一緒に考えてみませんか。

【主な内容】

- ①思春期のこどもの体の変化と心の不安定さを知る
- ②心と体と人とのつながり、自分の気持ちに気づく。安心できる関係について。自分を守る方法。
- ③親しい関係性でおこること。気持ちの伝え方。コミュニケーションの方法。男らしさ・女らしさ(ジェンダーについて)の思い込み/性に関する思い込み
- ④「思春期のこどもたちの本音」
「プログラムに参加したこどもたちの声」



日時： **7月20日(土)** 午後 **2時～4時**

講師：おきなわCAPセンター 奥間 智香枝さん・井形 陽子さん

会場：なは女性センター 第2学習室 (なは市民協働プラザ1階)

対象者：思春期を迎える子どもの保護者・教職員・関心のある方

定員：36人 (事前申込先着順)

*一時保育(2歳児以上未就学児)・手話通訳の申込期限は、7月12日(金)です。
那覇市在住・在勤・在学の方が利用できます。

中学校を対象に実施している「思春期の心と体プログラム」をおとな向けに、アレンジして開催します。

講座のお申込みは、QRコードからできます。



NPO法人おきなわCAPセンターのご紹介

CAPとは、Child Assault Prevention(こどもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。わかりやすい言葉で人権概念を教え、こどもたちがいじめ、体罰、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分を守るために何ができるかを、こども、保護者、教職員、地域の人々に伝えるCAPプログラムを提供しています。その他、講演会、研修会、養成講座の開催や企画、運営、会報の発行を通し、人権・エンパワメント・ジェンダー・コミュニティ・平和等、あらゆる視点から暴力のない社会を目指して活動しています。



お問合せ&講座のお申込み(受講無料です)⇒なは女性センター窓口でも受付しています。

TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204